



二〇一三年 十二月六日(金)

日本特殊陶業市民会館・フォレストホールにて
幼稚園まつり〜音楽リズム発表会〜が開催されました☆
それでは発表会の数々を、ご紹介いたします。
耳をすませば：ほらかな音楽が聴こえて来ますよ♪

耳をすませば…
聴こえて来るよ

幼稚園まつりへ
ようこそ!

ぶらぼ〜♡



年少 黄組
リズム表現『おまつりワッショイ・ショイ!』



「おまつりワッショイ」では、スペインのフラメンコ、ハワイのフラダンス、北海道のソーラン節など、全国各地で行われている様々な踊りをテーマに、体をいっぱい使ってリズム表現を楽しみます。

年中 赤2組
リズムダンス『届けよう ハピネス!』



テーマは「ハピネス」。
デイズニーの2つの楽曲を通して、ハピネスを探しに
出かけます。
ある時は、かわいらしい少女に、またある時は、強い
獣になり、それぞれがだんだんひとつひとつになって、人間
と動物の共存を表わしていきます。
次に、ひとつになった喜びを、たくさんの人に届けよ
うと元気づけたいと踊ります。

年中 赤1組
リズムダンス『美女と野獣』



デイズニー映画として有名な「美女と野獣」。これは、美しい少女ベルと魔法をかけられ獣にされてしまった野獣との、愛と勇気の物語です。子どもたちは、「美女と野獣」の曲を聴きながら、物語を思い浮かべつつ表現していきました。

年長 青組
器楽『ポルカ&ワルツ』



音楽の都「ウィーン」の代表的な作曲家、ヨハン・シュトラウス2世。
彼の作曲した「ピチカート・ポルカ」の弾むようなテンポと「美しく青きドナウ」の優雅な曲想を肌で感じつつ、様々な楽器を使って表現しました。

全学年
歌唱『ココロの地図』『風が吹いている』



「風が吹いている」は、二〇一二年のロンドンオリンピックのテーマソングでした。それぞれの目標に向かってコツコツと耐えながら懸命に進もうとする…
そんな意味の「められた」の曲は、三、一で被災された方にも勇気を与えているそうです。
「この曲を聴いてどんな気持ちがあるか」という話し合いでは、「力がわいてくる!」「あきらめないことが大事!」と子どもたちなりにイメージを膨らませていました。
世界中に届くように歌います!

栄光学園 年長 役員共演
歌唱『希望の歌〜交響曲第九番〜』



藤澤ノリマサさんの「希望の歌〜交響曲第九番〜」は、親子一緒に歌うことができ、尚且つ、約1900年親しまれている名曲である『第九』という芸術性に優れた楽曲に親しむことができます。
2年前より、親子の絆を作る歌声に仲間が広がり、今年より、財団法人「幼児文化芸術協会」が設立され、加盟園1500名の園児が集まり、合唱の輪も広がっています。
幼児第九をみんなが歌い、子どもたちの健やかな成長と、親子の絆、世界の平和を願い、メッセージとして届けます。

平成の
ベートーベン?



教職員出演
『第九ヒストリー』



「交響曲第九番」
世界に長く親しまれている「第九」には、誕生までの歴史があります。
また、この曲は、偉大な作曲家ベートーベンの集大成でもあります。
今回は、第九の歴史をひもとき、曲に込められた願いや夢が未来につながることを祈り、教職員、みんなで作りました。

編集だより

幼稚園まつりでは、これまで積み重ねて来た音楽教育が見事に花開き、音楽性あふれる素晴らしい発表となりました。また、今年度は文化芸術の年。発表の中には、クラシック、ポップス、民謡、ミュージカルなどなど、様々なジャンルの音楽が組み込まれました。

そして、教職員が一丸となり作り上げた第九ヒストリーでは、昨年より歌わせていただいている『希望の歌〜交響曲第九番〜』の親元である、ベートーベンの歴史をひも解き、子どもたちにもわかりやすい形で表現させていただきました。

発表会は子どもたちの成長を見ていただく場であると共に、私たちの教育に対する想いや願いが強く込められている場でもあります。ご覧いただいた方々の心に少しでも伝わりましたら幸いです。

釜谷